



⑥治療はいつまで続けるの？



ずいぶん疑問が解決してきました。
なるべく長くこぐまが痒みに困らず
過ごせるように、
今回はプロアクティブ療法も頑張ります。

それはよかったです。
一緒に頑張りましょうね。
他に気になることはありますか？



いつまで治療を続けていくのか、
これから先はどうなっていくのかが
やっぱり気になります。

では最後に、そのお話をしましょう。

これから先はどうなるの？

アトピー性皮膚炎は1回治療をすれば完治する病気ではなく、
何度もかゆみのある「しっしん」を繰り返すことが特徴です。
どのような経過をたどるか、いくつかのタイプがあるといわれています。

- ① 10歳ごろまでに自然と症状が出なくなるタイプ
- ② いったん症状が出なくなるが、思春期ごろにまた症状が出てくるタイプ
- ③ 思春期・成人になっても症状がずっと続くタイプ
- ④ 思春期を過ぎて初めて症状が出てくるタイプ

このように、アトピー性皮膚炎の経過は人によってさまざまです。

成長とともに皮膚のバリア機能が改善してくると自然と「しっしん」があまり出てこなくなるお子さんも多くいらっしゃいますし、

反対に、進学や引っ越しといったライフイベントや生活環境の変化をきっかけにまた「しっしん」が出やすくなる患者さんもいらっしゃいます。


なかには思春期・成人期を過ぎても症状が続き、しっかり治療をつづけても病気の勢いを抑えるのが難しい方もおられるのですが、そうした患者さんには強力に炎症を抑える飲み薬や注射薬が選択されるケースもあります。



残念ながらアトピー性皮膚炎を完治させる治療法はまだ見つかりませんが、
これまでお話してきたように、そのときの症状に合わせて
しっかりめの治療とプロアクティブ療法のサイクルを根気強く続け、バランスよく治療を行うことで、
「しっしん」や痒みに困らない状態をなるべく長く維持することは実現が可能です。

最終的にステロイド外用薬やかゆみ止めの飲み薬を終了して、
スキンケアだけでも調子のいい状態をキープできている方もたくさんいらっしゃいます。
この目標をみんなで共有して、一緒に頑張っていきましょう。





なるほど。
今は症状を繰り返しているけれど、
しっかり治療を続けていけば、
痒みや「しっしん」に困ることが
少なくなっていくんですね。

はい！！

その通りです。第一歩として、
運動会までにぶつぶつと痒みを
しっかり治しましょうね。

こぐま、ちびぐまと一緒に
さっそく今日から
お薬しっかり塗っていきましょうね！

おだいじに！

いめの皮膚科

運動会
楽しみだな！！

医師、看護師、薬剤師それぞれに得意分野があります。
わからないことや不安なことがあれば、
いつでもお尋ねください。



お待ちしております！

